

令和5年度第2回印西市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和5年10月16日(月) 10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 印西市役所 1階 農業委員会会議室
- 3 出席委員 小熊清委員、山崎久恵委員、角鹿智章委員、吉村仁委員、坂口育子委員、間野博昭委員、赤荻千春委員
- 4 出席職員 藤巻孝クリーン推進課長、関秀史推進係長、稲葉不法投棄対策係長、吉野郁伸主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事
議事
(1) 会長及び副会長の選任について
(2) 第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について
(3) その他
- 7 配付資料
・次第
・第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について(資料1)
・第3次印西市ごみ減量計画(資料2)
・令和4年度印西市一般廃棄物処理概要(資料3)
- 8 会議概要
(1) 会長及び副会長の選任を行った。
(2) 資料1に基づき説明を行い、意見等をいただいた。
(3) 議事なし

9 審議経過

(会長が選任されるまでの間、藤巻クリーン推進課長が仮議長を務める。)

仮議長 議題(1) 会長及び副会長の選任でございますが、印西市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第2条第1項で、審議会に会長及び副会長を各1名置くこととし、同条第2項で会長及び副会長は委員の互選とすることとしております。まず、会長の選出を行ないたいと思いますが、どなたか立候補または推薦される方はおりますでしょうか。

委員 小熊委員が経験も豊富ですので適任だと思いますので推薦します。

仮議長 小熊委員との推薦がありました。会長に小熊委員ということでよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

仮議長 小熊委員、お引き受けいただけますでしょうか。

小熊委員 はい。よろしくお願いいたします。

仮議長 それでは、会長は小熊委員ということで決定いたします。

会長が決まりましたので、事務局に進行をお返しします。議事の円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

事務局 ありがとうございます。小熊会長、議長席に移動をお願いします。

それでは、議事に入ります前に、小熊会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

会長 (挨拶)

事務局 ありがとうございます。

この後の進行につきましては、印西市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第3条第1項で、会長が会議の議長となることと定めておりますので、会長に議長をお願いしたいと思います。

議長 それでは、副会長の選任を行ないたいと思います。どなたか、立候補または推薦される方はおりますでしょうか。

(立候補なし)

議長 これまで坂口委員に副会長を務めていただいておりますので、その経験もありますので、引き続き坂口委員にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしとの声あり)

議長 坂口委員、お引き受けいただけますでしょうか。

坂口委員 はい。

議長 それでは、副会長に坂口委員ということで決定いたします。坂口委員よろしくお願ひします。

続きまして、議題(2)第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料1 1-1について説明)

議長 今説明がありました1-1食品ロスの削減までのところでご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

委員 フードドライブのボックスの機能ですが、ここへ余った食べ物を持ってくるということですか。

事務局 寄付いただきたい食品としましては、ご家庭で余っている缶詰、レトルト食品、インスタント食品などになります。それらをボックスに入れていただければと思います。

議長 11月16日から11月30日までの期間に、そうふけ公民館にフードドライブのボックスを設置して、そこに皆さん寄付をしていただければということでよろしいわけですね。

また、このフードバンクISSについてですが、印西、白井、栄の頭文字をとってISSとのこと。すでに活動されていまして、農家さんから野菜を出してもらったり、お米などの食品を集め、それらを配るなど活動しています。

他にございますでしょうか。

委員 例えば食品というのは、賞味期限や消費期限があると思うのですが、運用上、これらはどのようにお考えなんですか。

議長 基本的に食品の場合、すぐに配ることができないこともあるため、賞味期限が2か月間あるものというのが原則となっています。

そうふけ公民館にお持ちいただきたいものも、賞味期限が2か月間あるものが基本的には対象物ということでよろしいですか。

事務局 はい。

議長 他にいかがですか。それでは、事務局から1-2、1-3の説明をお願いします。

事務局 (資料1 1-2、1-3について説明)

議長 1-2、1-3についてご意見等ありましたらお願いします。

委員 生ごみ処理容器等購入補助制度についてですが、補助件数、補助金額の進捗はどのような状況でしょうか。

事務局 上半期で予算総額の5割以上の申請がありまして、多くの方にご利用いただいております。

議長 他にいかがですか。それでは、1-4の説明をお願いします。

事務局 (資料1 1-4について説明)

議長 ご意見等ございますか。

そうしましたら、私からで申し訳ないのですが、1-4②の実施要領の作成の進捗はどのようになっていますか。

事務局 現在、情報収集と検討を行っているところになります。

議長 わかりました。それでは、1-5の説明をお願いします。

事務局 (資料1 1-5について説明)

議長 ご意見等ございますか。

委員 検討されているということですが、有料化の方に進んでいるということでしょうか。

事務局 他のごみの減量化施策等とあわせて検討すべきものと考えておりますので、有料化ありきでの検討ということではありません。

委員 ごみを減らす努力はしていかなければいけないと思いますが、市民としては有料ではない方が助かるなどと思います。良い方向での検討をお願いいたします。

議長 他にございますか。

委員 白井市が有料で行っていると思うのですが、白井市が有料で印西市は無料というところで、どのような差があるのかなと思います。

有料にするとどういう傾向なのか、例えばごみの排出量が有料にしたら減少したなど。何らかの傾向などが出るとは思います。

事務局 白井市は現在、粗大ごみのみ有料となっています。同様の審議会を白井市も開催しておりまして、粗大ごみ以外についても有料化を導入したらどうかという方針は出ているようです。

また、印西地区ごみ処理基本計画を策定した際に、もう少し踏み込んだ議論が必要じゃないかということで、有料化という項目発生抑制のメニューに載っておりますけれども、機運の高まりであるとか、排出する市民の方にご理解をいただけるというプロセスが重要だということで意見をいただいています。

クリーン推進課の考えとしては、有料化ありきの検討ではなく、他の資源化の施策や発生抑制が重要ではないかということで、意見をさせていただいています。

一方、広域行政ということでは、施策の統一という面もありますので、各市の状況を今持ち合い、担当ベースで検討しているところです。まだ結論としては出ておりません。

議長 検討中ということですね。その他ございますか。

それでは、2-1から2-3について説明をお願いします。

事務局 (資料1 2-1から2-3までについて説明)

議長 ご意見等はございますか。

- 委員 廃食油の回収量についてですが、令和2年度の回収量が約7.5トンで、令和3年度が約6.2トンでしたが、令和4年度の実績はどのようになっていますでしょうか。
- 事務局 廃食油の回収量ですが、令和4年度につきましては、6.3トンになります。お手元の印西市一般廃棄物処理概要17ページに、年度ごとの資源物の収集量の実績を掲載しておりますので、他の資源物につきましても、参考としてご覧いただければと思います。
- 委員 印西市は廃食油の回収拠点が市役所や保健センターなど10数か所ありますが、廃食油の回収量は十分だと思われませんか、それとももっともっと回収した方がいいという認識でしょうか。
- 事務局 廃食油の回収につきましては、回収している団体様といろいろ打ち合わせした中で行政回収を始めております。回収場所は、公共施設、出先機関を使わせてもらって拠点回収としています。
- 委員 廃食油の潜在的な量はまだあるものと思いますが、現時点では、この拠点回収の中で、周知に努め、引き続き実施してまいりたいと考えております。
- 委員 印西市人口が10万人だとすると、例えば去年の数字で6.3トンだと、1人当たり年間63グラムの廃食油を回収していることになります。この年間63グラムの回収量というのは、主婦の観点からするとちょっと少ないのかなと思って、インターネットで少し調べました。
- 委員 例えば札幌市では、回収拠点が300か所以上の回収拠点があり、スーパーに協力を依頼し、スーパー、公共施設等に回収拠点がありまして、かなり廃食油の回収に力をいれている自治体だと思います。札幌市では、令和3年度の数字では、一人当たり109.8グラムの回収量とのことで、印西市もそんなに悪くないなあとの分析では感じています。
- 委員 回収拠点の数が札幌市よりかなり少ないのに、廃食油の回収量は1人当たりで見るとそんなに差がないのはなぜなんだろうと思ったら、札幌市は人口が197万人ということで、人口がすごく多いことからそんなに開きがないのかなと思いました。
- 委員 しかしながら、印西市も今後人口がどんどん増えてくると思いますので、廃食油の回収拠点をもう少しふやすことも検討していただいてもいいのかもしれないなと思います。また、現在の回収量は、悪くないのかなという感じでいます。
- 議長 私からの質問になりますが、公共施設での拠点回収へもってきていただいている廃食油の回収頻度や方法はどのような状況でしょうか。
- 事務局 基本的には、不法投棄対策と兼務している職員が、不法投棄の監視とあわせて、直接各回収拠点をまわり、小型家電など、他の拠点回収とあわせて回収しています。また、施設管理の職員から、たくさん排出されているなどの支障がある場合にも連絡をいただき、適宜回収を行っております。
- 委員 先ほどスーパーなどの拠点回収のお話がありましたが、他の拠点回収の事務と一緒にしているところですので、現時点では今の拠点回収をメインに考え、周知などにより資源物の回収に努めていきたいと考えています。
- 委員 広報いんざいで、分別くんとかいろいろな情報を発信されていますので、廃食油に関しても資源物として出せることなど、周知していただければと思います。

事務局 毎月テーマ決めて発信していますので、そういった視点も今後検討させてもらいたいと思います。

議長 いろいろな施策に取り組みされていて、実績も現在上がってきていると思います。広報の分別くんなど、皆さん読んでいただいてわかりやすいという評判も聞こえています。

それでは、次に3-1、3-2の説明をお願いします。

事務局 (資料1 3-1及び3-2について説明)

議長 3-1②の、各動画の今の視聴回数はどのくらいになりますか。

事務局 10月10日時点の視聴回数でお答えします。

「1. 考えてみよう！生ごみのこと」が610回、「2. ごみの減量のために3R「みんなができること」」が4,120回、「3. ごみを減らして資源を大切に使おう・キーワードは3R」が21,346回、「4. ごみの中には資源がいっぱい ごみの減量にはまず分別」が449回、「5. 食べられるのに捨てられる『食品ロス』を減らそう」が569回、「6. オンラインごみ処理・リサイクル施設見学会」が1,379回となっています。

議長 他はいかがでしょうか。

委員 3-2①のごみ処理施設見学会ですが、11月と2月の行程は同じものになりますか。

事務局 はい。同じものになります。

議長 3-2②の児童・生徒向けのタブレットへのインストールやクリーンセンター見学時の減量化説明会の実施などについて、教育委員会等々、できるだけ話を進めるようにしていただき、実施の方向に進めていただきたいと思います。

事務局 ごみの減量化について知る機会等は、重要なことだと思いますので、関係機関の方と検討・協議を進めてまいりたいと思います。

委員 印西市は来年度、ゼロカーボンシティ宣言を予定されていると思うのですが、ゼロカーボンシティに関するものも今後この環境教育の中にあってもいいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局 ゼロカーボンシティ宣言は、来年6月頃に宣言する方向で、今、担当部署で調整しております。また、各課にはそれぞれ環境主任が位置付けられているのですが、そういった担当ベースの会議で意見を集めているところと聞いております。そうした中に占めるごみの減量についての関わりというのは大きいものと認識しておりますので、担当部署と今後調整したいと思います。

議長 他にいかがでしょうか。

ないようですので、続きまして(3)その他について、事務局からございますか。

事務局 ございません。

議長 それでは議事につきましては、これで終了といたします。

令和5年度第2回印西市廃棄物減量等推進審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和5年11月15日

印西市廃棄物減量等推進審議会

委員 山崎 久恵

委員 角鹿 智章